令和５年度　年間学習指導計画案

科目	基礎看護	単位数	５単位 （１、２学期）	学年・学科・コース	２年・衛生看護科
使用教科書	基礎看護（教育出版）			副教材等	看護学入門　６　基礎看護Ⅱ 看護学入門　７　基礎看護Ⅲ （メヂカルフレンド社）

１．学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、看護の基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・看護の基礎的な技術について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・看護に関する基礎的な課題を発見できる力を養う。 ・基礎看護について、よりよい看護の実践を目指して自ら学び、日常生活の援助及び診療に伴う援助における看護の課題解決に主体的に取り組む態度を養う。

評価の観点		
ａ．知識・技能	**ｂ．思考・判断・表現**	**ｃ．主体的に学習に取り組む態度**
看護の社会的な役割や機能とそれに伴う責任を歴史的な経緯を含めて理解するとともに、実践的・体験的な学習活動を通して、看護の共通技術を基に基礎的な援助に関する知識と技術を身に付けている。	援助を必要とする身近な事例を取り上げ、看護の職業倫理を踏まえて生活者の安全・安楽や生活の質の向上の視点から援助を考察するとともに、実施する援助の科学的根拠を明確にして問題を解決する力を養うことができる。	看護の本質の理解を基に望ましい看護観や職業観、倫理観を育み、人間愛を基盤とする豊かな人間性をもって、人々の建国の保持増進のためによりよい看護の実践を目指し、主体的かつ協働的に看護の実践に取り組む態度を養うことができる。

２．学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
４ ５ ６ ７ ８	診療に伴う援助	・呼吸・循環・体温調整 ・与薬 ・輸血 ・穿刺 ・洗浄 ・排泄の援助 ・外科看護	○			・診療に伴う援助について理解するとともに、関連する技術を身に付けている	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 技術到達度 小テスト
				○		・診療に伴う援助について基本的な課題を発見している	
					○	・診療に伴う援助について自ら学び、対象の安全・安楽を守り、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	
９ １０ １１ １２	看護の共通技術	・看護過程	○			・看護の共通技術について理解するとともに身に付けている	定期考査 授業態度 発問評価 提出物 小テスト
				○		・看護の共通技術について基本的な課題を発見している	
					○	・看護の共通技術について自ら学び、対象に応じて実際の看護を適切かつ安全に展開できるよう主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	